

同一高校のワンツーフィニッシュは大会 16年ぶり

ECC学園高等学校

# 徳永優勝

# 春高ゴルフ

## 與語準優勝



高校日本一に!

3月23日(水)〜25日(金)に行なわれた「全国高等学校ゴルフ選手権春季大会」(チェリーヒルズゴルフクラブ/兵庫県)女子の部において、徳永歩選手(1年)が3日間のトーナルスコア212ストローク(4アンダー)で高校日本一に輝いた。目まぐるしく順位が変わる中で、與語優奈選手(2年)とのECC学園高校対決を制した。同一高校から6選手が最終日に残ったこともきることながら、ワンツーフィニッシュは42回の大会の歴史の中で16年ぶり2回目の快挙だ。

### チーム内競争が激しく

徳永選手は大会を振り返り、「試合が始まる前まではこのような結果は想像出来ずトップ10に入るのが目標でした。優勝できたのは3日間パーオン率が約87%



だったということとボギーを3つしか打たなかったことが要因だったと思います。新たな課題が見つかったので、そこをクリアして次の試合に向けて頑張っていきたいと思います。」とコメントした。



関西大会を優勝で本大会に臨んだ與語選手は「最終日のショットは3日間の中で一番良かったんですけど前半はなかなかパターが入らなくてスコアが伸ばせませんでした。後半の途中までは2つスコアを伸ばすことができたのに、終盤の15番〜17番ホールで3連続ボギーを打ってしまったので優勝できなかったのはすごく悔しかったです。でも最終ホールでバーディーを取って単独2位になったことは良かったと思います。夏はリベンジとして優勝できるように頑張りたいです。」と悔しさをにじませた。

3月28日(月)徳永選手はECC本社(大阪市)を訪れ、花房社長と下出専務に優勝の報告を行なった。4月13日からはECCが共催する「JLPGAステップ・アップ・ツアーECCレディスゴルフトーナメント」の選考会が行なわれ11名の部員全員が参加する。高校女子ナンバーワンチーム内の厳しい選考会になることは間違いない。



ECC本社に凱旋報告!